

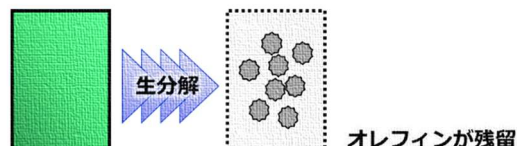
生分解性樹脂用発泡剤 MB(EPB35C)のご紹介

プラスチックごみ問題への対策として生分解樹脂が注目されています。しかし、一般的に生分解性樹脂は高価かつ高比重であることが普及への課題となっています。永和化成では生分解性樹脂用発泡剤 MB（マスターバッチ）によるコストダウンおよび軽量化をご提案いたします。

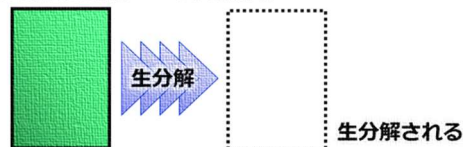
生分解性を損なわない発泡剤 MB

従来のオレフィンをベースとした MB では、オレフィン由来の残留物により成形体の生分解性が損なわれますが、本開発品は生分解性樹脂であるポリブチレンサクシネート(PBS)をベースとしているため、成形体の**生分解性を損ないません**。

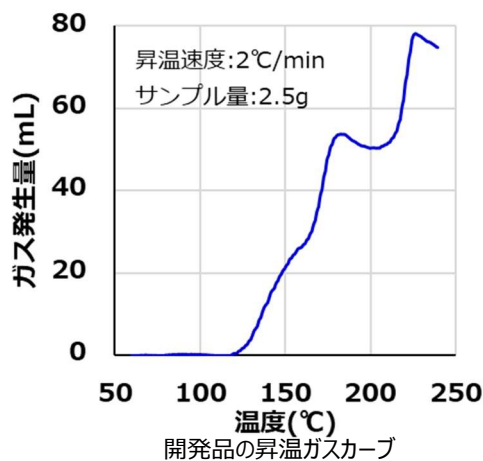
オレフィンベースを使用



生分解性樹脂ベースを使用



ベース樹脂による生分解への影響（イメージ）



ポリスレン EPB35C(開発品)の特徴

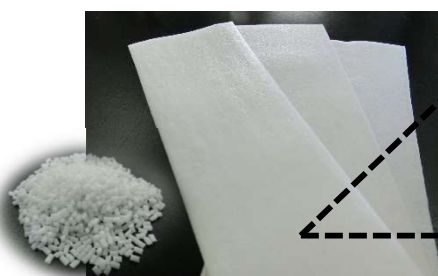
- ・ベース樹脂が生分解性を有する
- ・発泡剤は重曹で主発生ガスは CO₂
- ・JHOSPA および JBPA の PL 取得実績のある原料を使用※1
- ・発泡剤由来の加水分解を低減※2

成形時の樹脂圧

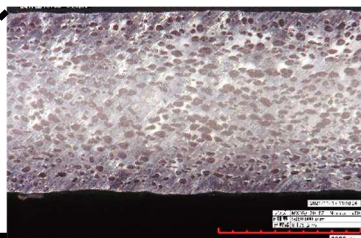
	樹脂圧(MPa)	
ソリッド	3.24~3.38	
SC-855 (従来品)	1.93~1.96	加水分解により樹脂圧低下
EPB35C (開発品)	2.74~2.78	樹脂圧低下を抑制

※1 本開発品は PL 未取得 ※2 樹脂圧から加水分解の程度を推測

発泡成形の一例



生分解性樹脂用 MB と PLA 発泡シート



PLA 発泡シート断面
(マイクロスコープ 60 倍)

EPB35C を 5% 添加したシート押出発泡で、発泡倍率 **1.5 倍** を達成し、微細な気泡が得られます。

ご興味を持たれましたら、お近くの営業所または弊社 HP までお問い合わせください。

東京営業所：03(3866)9251, 関西営業所：075(256)4332, 名古屋営業所：052(582)1781
研究開発部：0569(22)6433

<https://www.eiwa-chem.co.jp>